

の使用量の削減などに取り組む事業性を調査するもの。

問 熱をどのような方法で運ぶことを想定し、事業性を評価するのか。

答 水に触れると熱エネルギーを発生する特性を持つ吸湿材の使用を想定しており、工場から排出される廃熱で吸湿剤を乾燥させ、それをコンテナに詰めてトラックで輸送する。市民プールでは、吸湿剤に湿った空気、あるいは水に直接触れさせて熱エネルギーを再び取り出し、各工程で発生するさまざまなコストを見極め、事業性を評価する予定。

観光推進事業

問 渥美半島花火大会事業補助金を計上した経緯は。

答 五町合同花火大会は、多くの観光客を集める人気の行事である一方、後継者不足等の課題があること聞いており、来年度からこれまでの規模の五町合同花火大会の打ち上げ花火が開催されない見込みであることから、3万人以上を集客するこの貴重な観光資源の存続のため、今回計上した。

問 補助金交付とした理由は。

答 観光や経済団体等が一体となり、民間ベースで地域内における消費喚起の具体的な仕組みや連携を構築することが不可欠であると考え、その支援として補助金交付とした。

問 予算5千万円にした根拠は。

答 五町合同花火大会を参考にしたり、他の花火大会の状況を聞き取り、会場設営費、広告費、警備費、清掃費等を積み上げた。

(3/11 予算決算委員会)

地域ネットワーク運営事業

問 ひきこもり者に対する社会参加への支援とは。

答 本人及びその家族を対象に、安全・安心に過ごせ、同じ悩みを抱える他者と交流できる居場所を提供し、復学支援や勤労意欲の喚起、孤立防止の促進を図るなどの取り組みを通じて、社会参加に向けた一歩を踏み出せるよう、関係機関と連携を図り、学校への登校や一般就労支援に向けた支援を行う。

自殺対策推進事業

問 今回新たにSOSの出し方の教育講座があるが、どのような方を対象にどんな講座をするのか。

答 SOSを出したい状況でもなかなかできない子どもに対して、つらい時のSOSの出し方や大人に頼ってよいということを教えていく講座を考えている。

障害者外出支援助成事業

問 燃料費助成の内容は。

答 現時点では、10リットル券を8枚、合計80リットル分、およそ1万5千円分を燃料券として交付し、交付を受けた方の送迎などを行う方が給油をする時にガソリンスタンドに渡すことを想定している。

地域包括支援センター運営事業

問 委託料が1千万円ほど増額している理由は。

答 市内3か所の高齢者支援センターと締結するもので、人件費や事務費の単価見直しを行ったため。

問 なぜ今回見直しを行うのか。

答 昨今の人件費や物価の高騰、各センターの決算額や近隣自治体との比較により、人件費の単価が低い

ことなどが分かったため。

子育て世代包括支援事業（妊娠出産）

問 妊娠婦タクシー利用助成事業を新たに行う理由は。

答 令和3年度から産婦健診が産後2週目と4週目の2回に分けて実施されており、産後間もない産婦にとっては通院に係る負担が生じている。全ての妊娠婦が安心して出産・産後を迎えられるよう、本事業を実施することとした。

問 妊娠婦タクシー利用助成は、何人の人がどのように利用するのを想定しているのか。

答 妊娠中から産後にタクシーの送迎を希望するとの回答割合13%と令和6年度予測の妊婦数から36人と想定し、助成回数1人当たり片道8回全てを利用するとして予算化した。

成人感染症予防事業

問 予防接種健康被害救済給付金の見込みの積算根拠は。

答 既に厚生労働大臣認定を受けている2件に合わせ、認否を待っている3件の事案が認定を受けると想定し、予算計上している。